

教育課程又は教員組織に関する重要な変更に対する評価結果への付記事項

経営系専門職大学院名	認証評価申請年度	認証評価時の認定
東京理科大学大学院 経営学研究科 技術経営専攻	2021（令和3）年度	適合

経営系専門職大学院基準 の大項目	経営系専門職大学院基準の評価の視点	付記事項	
		<変更前>	<変更後>
2 教育の内容・方法・成果 (1) 教育課程・教育内容	2-2 学位授与方針を踏まえた教育課程の編成・実施方針に基づき、理論と実務の架橋教育である点に留意し、次に掲げる事項を踏まえ、教育課程を体系的に編成していること。（「専門院」第6条） (1) 経営系専門職大学院に課せられた基本的な使命（mission）、すなわち、企業やその他の組織のマネジメントに必要な専門知識（戦略、組織、マーケティング、ファイナンス、会計など）、思考力、分析力、コミュニケーション力等を修得させ、高い職業倫理観とグローバルな視野をもった人材を養成する観点から適切に編成していること。 (2) 経営系各分野の人材養成の基盤となる科目、周辺領域の知識や広い視野を涵養する科目、先端知識を学ぶ科目等を適切に配置していること。 (4) 学生による履修が系統的・段階的に行われるよう適切に配慮していること。	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）として、8つの教育研究領域（ビジョナリー・シンキング、イノベーション・起業、経営戦略と組織行動、先端科学技術と産業、経済学と財務・会計、マーケティング、リーダーシップとリスク、コンプライアンス）を設けて授業科目を開発することを定め、同領域を設定していた。	2023年度より、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）として、8つの教育領域（CEO/COO的知見、CFO的知見、CTO的知見、CMO的知見、CIO/CDO的知見、CHRO的知見、起業家的知見、その他CXO/ステークホルダー的知見）を設けて授業科目を開発することを定め、同領域を設定している。
		経営系各分野の人材養成の基盤となる科目及び周辺領域の知識や広い視野を涵養する科目を「コア科目」に、先端知識を学ぶ科目を「E-MOT」「イノベーター」「アントレプレナー」の3つの履修コース（トラック）を柱とする「トラック科目」（各トラック間の共通科目を含む）及び「社会連携科目」に配置していた。また、「コア科目」のもとには、「コア科目」の履修に必要な学生の知識を補完する科目として、修了要件には含めない「基礎科目」を配置していた。	2023年度より、科目区分を「基盤科目」「専門科目」「社会連携科目」「演習科目」に変更し、授業科目を配置している。
	2-10 課程の修了認定に必要な在学期間・修得単位数を法令上の規定に則して適切に設定していること。（「専門院」第2条第2項、第3条、第15条）	授業時間について、1時限90分を四半期で8週回としていた。	2023年度より、授業時間を、1時限75分とし、四半期で9週回としている。